THE MINKYOKYO REPORT 2022

民間放送教育協会リポート 2022

ご挨拶

公益財団法人 民間放送教育協会
会長　吉永 みち子

放送を通じて教育に寄与したい。民間放送教育協会は、この思いを共有することで生まれ、50 年を超える活動を続けてまいりました。その間に、原点である「教育」という言葉も、学校教育の現場も様々な揺らぎが生じ、社会も大きな変化に見舞われてきました。

教育とは？　勉強とは？　教育番組とは？原点を見失わないためには、常に自らに問いかけていくことが必要なのだと思います。

ある人が、こんなことを言っていました。人を育てる時、もし迷ったら、教育者であれ、親であれ、相手はこの体験から何を学ぶだろうか、何を感じ何を受け取ってくれるだろうかと想像するといい。

知らなかったこと、理解が難しいこと、不思議なこと、美しいこと、心が躍る楽しいことなどに出会い、もっと知りたいと内から好奇心や探求心が湧き上がる。そこから勉強がスタートし、学びの時が動き出す。

教育とは、知識や技能を教えることだけでなく、バトンを掴んで走る力を育てることなのかもしれません。

その時に、教育は未来を照らす確かな光になるものと信じています。

ひとりひとりが生き生きと自分の足で立ち、自分で考え、しっかり話し、違いを尊重し、共に生きることが出来る。

そんな社会の姿を目指して、放送が貢献できる教育の可能性をこれからも加盟各局とともに探り続けていきたいと願っております。

CONTENTS

2022 No.59

巻頭言

民教協番組紹介

日本のチカラ…… 2
民教協スペシャル…… 5

番組選奨

「日本のチカラ」各賞授賞報告 …… 8
文部科学大臣賞
「とうちゃんは茅葺師 ～北アルプス 麓の村の 1 年～」 信越放送 …… 10
総務大臣賞
「リアル THE 島暮らし ～山形の離島…飛島～」 山形放送 …… 11
民教協会長賞
「これがおれたちの伝統 ～人と鳥がつないだ 450 年～」 中国放送 …… 12
中央出版グループ賞
「みらいチケット ～子どもたちを支える善意のカレー食堂～」 朝日放送テレビ …… 13
中小機構理事長賞
「シンタと妻と娘たち ～おいしい宮城 届けます！～」 東北放送 …… 14
JA グループ賞
「雑談が仕事！ ～山形発！おいしいブドウの秘密～」 山形放送 …… 15
奨励賞 <4 作品 >
「北の離島は人生のリング ～移住漁師・感涙の 6 年間～」 北海道放送 …… 16
「“笑顔” 支える大黒柱 ～元落語家と子どもたち～」 宮崎放送 …… 16
「絵は心の鏡 ～文字が読めないアーティスト～」 青森放送 …… 17
「亡き兄、そして厳格な父へ… ～静かな決意と山梨マンゴー～」 山梨放送 …… 17
プロデューサー特別賞
「駆け出しは 30 歳 ～炎でつくりたい～」 山口放送 …… 18
番組トピックス …… 18
「日本のチカラ」年間放送リスト（2021 年度） …… 19

「テレビのチカラ」大会報告

全国大会／地区大会報告…… 20

民教協の事業

子どものための読み聞かせ事業　実施報告…… 21

民教協からのお知らせ…… 22
理事・監事・評議員名簿…… 23
2021 年度の主な活動 …… 24

中朝露国境･･･

中朝露国境

手作りのお弁当

キムチ盛り合わせ

お弁当を食べながら･･･

◆寂寞、荒涼、感傷…そんな言葉では言い表せない
広大な原野を望む高台で、私たちはランチをとることにした。
風もなく、鳥のさえずりしか聞こえない、おだやかな昼下がり。
観光客どころか、人っ子ひとりいない。
ここは中国・朝鮮・ロシア…3か国の国境が接する稀有な場所…。
若いころ、タイ・ラオス・ミャンマーが接するゴールデントライアングルを
訪れたときは、きな臭さと警戒感しかなかったが
ここはまさに白昼夢だ。

◆ビールで乾杯したあと、軽く焼酎を飲み、お待ちかねのお弁当タイム。
牛肉の辛子炒め、野菜スティック、鶏の唐揚、焼きめし、煮卵、
そして、大盛りのキムチ盛り合わせ。
絶妙な味の手作り弁当を食べながら、いろんな話をした。
カップラーメンは日本が圧倒的に美味しい、いや中国も
負けてない。朝鮮の焼酎はグイグイいけちゃうくらい口当たりがいい。
ロシアの人たちは買物が大好き…そんなどうでもいい話を
中国語・朝鮮語・日本語、ごちゃまぜで話す。
ちゅうちょうろ国境で、なんともシュールだ。

◆幸せいっぱいの、お弁当タイムが終わり一服。
ガイドのパクさん、カンさんにアイコスをすすめると
「資本主義の味ですね。おいしくはない」と怪訝な表情。
私　「じゃあ、このタールがきつい朝鮮の煙草は、社会主義？」
パク「そんなこと、どうでもいいです。煙草はみんな同じ」と、けらけら笑う。
私　「たしかに、資本主義、共産主義、社会主義、何がどう違うのか
うまく説明できません」
カン「そうでしょ？人間は、食べて、笑って、恋愛してれば幸せなんです」

カンさん（左）とパクさん（右）

変顔カンさん　変顔パクさん

意中の女性に写真を見せるパクさん

◆思い返せばこの4日間、そんな感じだった。
初日、夕食の席でスマホにあった「変顔変換アプリ」で
写真を撮ってあげると、ふたりは爆笑して涙までこぼしていた。
これこそ、資本主義の恩恵だ。
翌朝なぜか予定が変更され、行きつけの喫茶店に。
パクさんは意中の若い女性に、得意げにその写真を見せている。
従業員全員が集まってきて、笑いの渦に包まれ、パクさんは大人気となった。

◆市場では、スルメの束を大量買いする私に、おばちゃん、なぜか大爆笑。
テニスをしたときの相手は、筋肉もりもりの軍人ぽいお兄さん。
打つたびに「ヤーッ、ヌウォー、シャーッ」と奇声をあげるので、こちらが大爆笑。
放課後の部活で歌っていた女子中学生に、モノマネをしてあげたら、大喜び。
海鮮市場では、ダチョウ倶楽部の熱々おでん風にイカ焼きを食べた。
こちらはスベって、大失笑。なんだかんだ、笑いっぱなしの4日間だった。

◆今回なぜこの話を書いたのか…。それは今、世界が哀しみにあふれているから。
数年前、ちゅうちょうろ国境で感じた、ささやかな幸せとは真逆だから。
ロシア・ウクライナの戦争、中国・韓国・朝鮮と日本の軋轢、長引くコロナ禍…。
世の中は複雑で、うまくいかないことが大半だけれど
食べて笑って恋愛できる、なんでもない日常は、きっと取り戻せるはず…。

◆パクさんはきっと今でも、あのとき撮った変顔写真を武器に
意中の女性に、ちょっかいをだしているにちがいありません。
カンさんは相変わらず、きつい煙草を吸いながら
人間の本質を語っているにちがいありません。

◆「日本のチカラ」は8年目を迎えます。
ほほ笑みと元気と希望をお届けできるよう
スタッフ一同、精進してまいります。
ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

総合プロデューサー　雪竹 弘一

番組の詳しいラインナップや各局の放送時間は　民教協

日本のチカラ

NIPPON NO CHIKARA

2022年度 ラインナップ　※5月時点でのラインナップです。変更の可能性がございます。

放送回	東京地区放送日	サブタイトル	制作局
295	4/16（土）	歌う葬儀屋さん ～下北半島でつなぐ命～	青森放送
296	4/23（土）	全盲先生から生徒へ ～ラストメッセージ～	テレビ朝日
297	4/30（土）	汐凪（ゆうな）に吹く風 ～福島・原発の町からのメッセージ～	信越放送
298	5/7（土）	木こりシンガー ～森と人生の讃歌～	北海道放送
299	5/14（土）	海のごみを“宝物”に！ ～キラリ輝く男の未来～	メ～テレ
300	5/21（土）	“いかさま手品師”全力疾走 ～笑う食堂（かど）に福来たれ～	秋田放送
301	5/28（土）	青い鳥のカフェ ～ひきこもりからの一歩～	テレビ朝日
302	6/4（土）	笑って生きる一生 ～ ALS 患者がつくる夢のグループホーム～	静岡放送
303	6/11（土）	今治発！大人気産直市の秘密 ～カリスマ農家とママ・パティシェ～	南海放送
304	6/18（土）	「しなしなやらんかさ！～おいしい芽吹き～」（仮）	新潟放送
305	6/25（土）	生きる ～すべての人が地域でしあわせに～（仮）	大分放送
306	7/2（土）	原爆に負けなかった広島の木（仮）	中国放送
307	7/9（土）	祇園祭 鷹山 コロナ禍で 200 年ぶりに復興（仮）	朝日放送テレビ
308	7/16（土）	青春ときどきプロレス（仮）	日本海テレビ
309	7/23（土）	“がれき”に花を咲かせましょう！～震災オブジェと子どもたち～（仮）	山形放送
310	7/30（土）	芝居小屋でまちを変える！（仮）	北陸放送

歌う葬儀屋さん ～下北半島でつなぐ命～

青森県むつ市を中心に、知名度と人気がじわじわと上昇中の超ローカル歌手「メンソーレ川端（かわばた）」こと川端拓二さん 50 歳。

本業は葬祭業。かけ離れた２つの顔に、はじめの頃は厳しい声が多かったそうです。

それでも活動を続けているのは、人のつながりを残してくれた母への思いと、人の死に触れる機会が多い葬祭業だからこそ見えてきた人生観があるからでした。

そんな川端さんに、「メンソーレ川端」ならではの葬儀の依頼が…。

青森放送　**内山　匠**（制作局テレビ制作部）

全盲先生から生徒へ ～ラストメッセージ～

埼玉県皆野町で教壇に立ち続けてきた全盲の国語教師。

新井淑則先生（60）は 34 歳で両目の視力を失いながら普通中学で授業を受け持ち 1000 人以上の生徒たちと歩んできました。まもなく退職のとき。共に“卒業”する３年生の中に、ひときわ見守ってきた生徒がいました。「教職をかけても守るのが私の使命」、そう固く誓った理由、そして最後の授業で語りかけたラストメッセージとは…。幾度の苦難を乗り越えてきた全盲先生と生徒たちの歩みを見つめます。

テレビ朝日　**猿渡 研二**（株式会社フレックス）

＃297

汐凪（ゆうな）に吹く風
～福島・原発の町からのメッセージ～

東日本大震災・福島第一原発の事故から 11 年が過ぎた今も帰れない故郷。福島県大熊町の木村紀夫さんは、震災で家族を亡くし、行方不明の次女・汐凪さんを捜しながら、長女の舞雪さんと長野県で避難生活を送りました。

3 年前、福島に戻り、「震災体験から得た教訓を未来に残したい」と、主に 10 代・20 代に向けた伝承活動を始めます。喪失と復興の狭間で揺れながら、亡き娘の命と向き合い続ける木村さんの歳月を追いました。

信越放送　**手塚 孝典**（情報センター制作部）

＃298

木こりシンガー
～森と人生の讃歌～

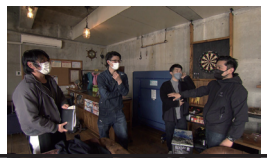
北海道で林業を営む陣内雄（じんのうちたけし）さんは「木こりシンガー」。

作曲家の葉加瀬太郎さんは大学時代の音楽仲間です。陣内さんが目指すのは、「森に優しい林業」。切った木を運び出す道はできるだけ細く、森を傷つけないルートで作ります。2 年前からは「木こりの視点で家を作りたい」と、建築の仕事も始めました。充実した毎日を送る陣内さんですが、一つだけ悩みが…。

木こりシンガーの生きる姿と、森への思いを綴ります。

北海道放送　**河野　　啓**（報道制作センター情報制作部）

＃299



海のごみを“宝物”に！
～キラリ輝く男の未来～

海洋プラスチックごみを“美しいアイテム”に変えるのが間瀬雅介さん（29）。

間瀬さんの目標は、プラスチックごみの概念を変えること。2020 年 12 月に家族で名古屋から三重県鳥羽市に移住しました。

会社を設立し、地元の漁業従事者たちと海岸の清掃活動を行っています。間瀬さんは海のごみを拾うたび「宝だ！」と目を輝かせます。

番組では、地元の人たちと共に“ごみの価値観”を変えようとする間瀬さんを追いました。

メ～テレ　**松尾 有美**（報道情報局報道センター）

＃300

“いかさま手品師”全力疾走
～笑う食堂（かど）に福来たれ～

主人公のブラボー中谷さんは自称“いかさま手品師”。観る人を笑わせる手品が持ち味で国の内外でショーを開いてきました。

しかし新型コロナの影響でショーが減り、さらに人工透析を受けることになったため、遠くに出向くことが難しくなりました。そこで、妻の張美さんと食堂をオープンさせ、店で手品を披露しています。経営は決して順調とはいえませんが、店を訪れる人を毎日手品で笑顔にしています。

ブラボーさんが笑いにこだわる理由とは？

秋田放送　**齊藤　　弥**（報道制作局テレビ制作部）

最優秀企画賞は

「ママへ －ある姉妹の話－」（仮）に決定

「民教協スペシャル」は、公益財団法人 民間放送教育協会に加盟している全国のテレビ局の制作者が、年に一回、渾身の企画を提出し、厳正な審査を経て最優秀企画賞に選ばれた企画を放送するものです。1986 年以来 36 回の放送を数え、これまで数々の賞を受賞しています。

第 37 回の企画募集（2023 年 2 月放送予定）では 28 企画の応募があり、映画監督の崔洋一さん、映画監督・作家の森達也さん、ノンフィクション作家の星野博美さん、三名の審査委員による厳正な企画審査が行われました。

一次審査を通過したのは以下の６作品です。		
一刻（ひととき）のあなたへ　認知症、揺らぎの日々（仮）	IBC 岩手放送	井坂 桃花
消えた町の記憶　～放射能が隔てる世界で～	信越放送	手塚 孝典
ママへ　―ある姉妹の話－（仮）	信越放送	中村 育子
パパがある日女性に	朝日放送テレビ	國友 千愛
いろめがね（仮）	山口放送	佐々木 聰
水どぅ宝　ウチナーンチュからの伝言（仮）	沖縄テレビ	平良 いずみ

この 6 作品について、事前送付された約 5 分のプレゼン VTR と、ブラッシュアップされた企画書をもとに、3 月 17 日、WEB 会議による二次審査が行われました。

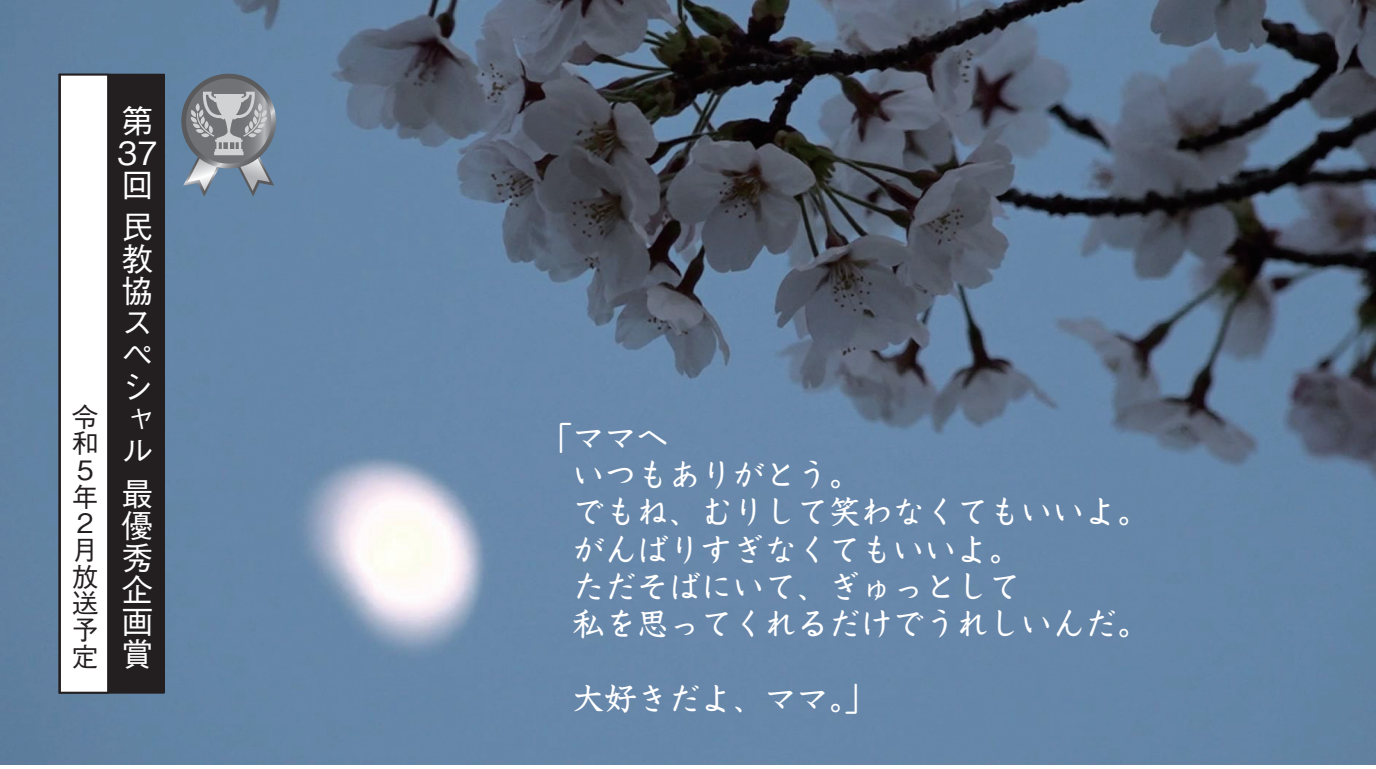
崔洋一さんは通院のため欠席。森達也さん、星野博美さん、雪竹プロデューサー、3 名との真剣な質疑応答の結果、信越放送 中村育子さんの「ママへ　－ある姉妹の話－」（仮）が最優秀企画賞に選ばれました。

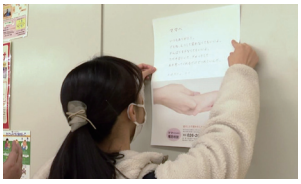
審査後の講評では、森達也さんから「未知数なことがたくさんあるが、足掻くことこそドキュメンタリー。姉妹の未来を目撃したい」、星野博美さんから「今の時代、とても大切なテーマ。中村さんは姉妹にじっくり関わって、丁寧に紡いでいただきたい」というコメントを頂きました。

今回の企画では、中村さんが出会った、虐待の過去をもつ姉妹の心象風景とともに「虐待問題」の本質と向き合い、本当に必要な「救いの手」とは何かを描き出します。

第37回 民教協スペシャル 最優秀企画賞

令和5年2月放送予定





「ママへ－ある姉妹の話－」(仮)

長野県内に貼られた児童虐待防止のための相談窓口を案内するポスター。
作ったのは、ある看護学生でした。
「いま苦しんでいる、親にも、子どもにも、届いたらいいなと思って。」
彼女は、この春、小学校の養護教諭になりました。
「私の過去の経験が、子どもを救う未来につながればいい。」

2歳年下の妹は、高校を中退してスナックで働いています。
「お姉ちゃんとは違うけれど、私は私のやり方で生きてて。」
「過去は地獄だったので、自立している今は本当に幸せ。」

これまで誰にも話すことのなかった姉妹の心の中にある虐待の過去を紐解き、検証的なまなざしで振り返ることで、既存の「虐待問題」へのアプローチの歪みをあぶりだしたい。そして、これからの「虐待問題」の解決の糸口を見つけたい。

保健室の先生として新たな一歩を踏み出し、子どもと触れ合う中で「母親の愛」と葛藤する姉と、孤独と戦いながら日々生きることに精一杯ぶつかる妹の生き様をつぶさに描くことで、「虐待問題は他人事」と思っている多くの人の心のどこかに何かを残せる番組が作れたらと思います。

信越放送 情報センター報道部
中村 育子

第36回
民教協スペシャル
令和４年２月放送

「ハマのドン “最後の闘い” －博打は許さない－」

忖度がはびこる時代に権力に立ち向かう。時の政権と横浜市が進めるカジノ構想に、反対を貫いた〝ハマのドン〟こと藤木幸夫さん。91歳。

その姿勢に、視聴者からは、民教協とテレビ朝日だけでも２１１件ものご意見が寄せられ、大きな反響を頂きました。

多くは、「藤木氏の信念と行動に勇気を貰った」など藤木氏の生きざまに感動したと言う声、また「政治を諦めてはいけないと思った」、「行動すれば社会を変えられる」など市民の力に希望を感じたというご意見でした。

最後の闘いの場となった横浜市長選は、政権との神経戦が続き、候補者は決まらない、何がどう転ぶか分からない緊張の連続で、ハマのドンが一敗地に塗れるとすら思われた状況でした。

そんな中で、権力側にいた藤木氏が賭けたのは、市民の力でした。住民投票条例の署名を法定数の３倍も集めた無党派市民。その市民たちと連携し、最後は、市民が力を合わることで、政治を変えることが出来る―それを実現したのです。

91歳で台風の中でもマイクを握って応援演説をし、市民の自宅にも足を運ぶ。戦後に作った野球チームでは、読書と議論は必須、地域奉仕もやる。その時のメンバーがまた連携する。

人心が動くとはどういうことか、選挙とは何か、民主主義とは何か、藤木さんを追う中に凝縮されていました。藤木さんは人間力あふれる人物でした。

番組を通して、多くの方に社会のありようを考えて貰う機会になったとしたら、望外の喜びです。

テレビ朝日 ビジネスプロデュース局　**松原 文枝**

文部科学大臣賞

生涯学習も含め、もっとも価値があると思われる番組

とうちゃんは茅葺師
～北アルプス 麓の村の1年～

制作：信越放送

選出理由 茅葺の様々な映像が美しく迫力があり、野焼きシーンも荘厳。象のような手に象徴される過酷な労働現場のはずだが、主人公の松澤さんの穏やかな語り口と、日々感謝しながら過ごしている姿がかっこいい。伝統的な職業なのに、偉ぶることなく、控えめなところも好印象。本人だけでなく、家族も実に良い顔をしている。日本の伝統文化を象徴する、貴重な映像記録として残したい作品。

総務大臣賞

地方創生に寄与する番組

リアル THE 島暮らし
～山形の離島…飛島（とびしま）～

制作：山形放送

選出理由 少子高齢化に悩む離島への若者の移住、後継者不足に悩む旅館の事業承継、高齢化で担い手のいない水管理といった多様な仕事を受け持つなど、多くの地方に共通する課題に対して解消する取組みを描いており、最も地方創生に寄与すると評価できる。関係人口の拡大に向けたSNS活用（DX対応）、小学校との連携を進めている点も、他の地域の模範となる。

中央出版グループ賞

学ぶ楽しさと生きる力を実感できる素晴らしい番組

みらいチケット
～子どもたちを支える善意のカレー食堂～

制作：朝日放送テレビ

選出理由 人のやさしさや善意の中で、できあがったシステム。善意の輪が奈良県だけでなく、他地域まで広がっていく様子は、見ていてワクワクした。中央出版ではPSS（パブリックソリューションサポート）＝「世の中の課題を、ビジネスを通して解決するお手伝い」というスローガンを掲げているが、今できることから具体的に実践していく主人公の行動力に、大きな希望と共感を得ることができた。

日本のチカラ
NIPPON NO CHIKARA

2021年度 番組選奨

3月10日 2021年度「日本のチカラ」番組推奨の選考会議が行われ、11作品が選出されました。（今回はリモートによるWEB会議）。
総務省大臣官房広報室長 君塚明宏さん、中央出版・広報部 野村昭仁さん、JA全中・広報部 長谷川健一さんも選考に加わりました。

評価委員

奥山　睦（静岡大学大学院客員教授）
鈴木 美伸（東京外語大学特定教員）
星野 博美（ノンフィクション作家）

選考にあたっては「多くの人に見てもらえる生涯学習番組」の目標に沿って「人々の笑顔、地域ならではのリアル」がどれだけ丹念に描けていたか、未来への可能性を感じ取れたか、番組として純粋に楽しめたか、といった点も参考とされました。

民教協会長賞

テレビ番組としての評価の高い番組

これがおれたちの伝統
～人と鳥がつないだ450年～

制作：中国放送

選出理由 ダイナミックな鵜目線をはじめ、映像がクールでファンタスティック。動物と人間の関係の捉え方が新しく、単なる文化伝承でなく現代的視点も入っており、教育的効果も高い。伝統行事共通の後継者不足や自然災害の悩み、新型コロナの影響など数々の試練を抱え、それを突破していく人間描写も素晴らしい。「…でもやるんだよ」という覚悟に満ちた言葉が胸に響く。

奨励賞（４作品）

価値のある番組、また今後に期待したい番組

北の離島は人生のリング ～移住漁師・感涙の6年間～

制作：北海道放送

選出理由 漁師の命がけの仕事ぶり、漁業の厳しい現実、地域産業を発展させるための方策、後継者問題への取り組み、そこで暮らすことによって次世代へとつながる家族の姿など、バランス良く描かれていた。熟練指導者の教えを後継者が引き継ぎ、更に発展させている点も今後の可能性を感じさせる。

“笑顔”支える大黒柱 ～元落語家と子どもたち～

制作：宮崎放送

選出理由 落語家としての夢がついえた大黒さんが、落語を教えることで自分の殻を破り、指導を受けた子どもたちが前向きに生きていく…その裾野を一人で広げた大黒さんの功績は大きい。一見地味だが素敵な作品。イベント開催に取り組む子どもたちが、対人スキルを育み成長していく姿は胸を打つ。

絵は心の鏡 ～文字が読めないアーティスト～

制作：青森放送

選出理由 アートの独創性が素晴らしい。GOMAさんの子どもへの目線が優しい。「ただほめる」というのは、ありのままに寄り添うことの大切さを示している。ディスレクシアという障がいを分かりやすく描いており、教育的効果も大きい。発達障がいがある少女が画をじっと見つめるシーンは、とても心に響いた。

亡き兄、そして厳格な父へ… ～静かな決意と山梨マンゴー～

制作：山梨放送

選出理由 亡き兄への並々ならぬ思い…守屋さんの目力がすごい。厳しい父を越えるべく、未来展望としての障がい者支援や商品開発など、様々なものがその目の中に見えてくる。
墓前で涙ぐむ守屋さんのラストシーンにはぐっときた。
マンゴー事業が今後どのように展開していくのか、見守っていきたい。

中小機構理事長賞

地域中小企業の活力を魅力的に紹介した優秀な番組

シンタと妻と娘たち ～おいしい宮城 届けます！～

制作：東北放送

選出理由 東日本大震災という大きな困難を乗り越え、地元企業と協力して地域を盛り上げるための新たな取組みに率先して挑戦する姿が印象的。「食のみやぎ応援団」では、宮城の食材に付加価値を付けるため廃棄食材を利用した新商品開発を手がけるなど、持続的な社会実現を目指すSDGsにも取り組んでいる。他の中小企業の模範となるとともに、地域中小企業の活力を魅力的に紹介している。

ＪＡグループ賞

持続可能な食と地域作りに寄与する番組

雑談が仕事！ ～山形発！おいしいブドウの秘密～

制作：山形放送

選出理由 JAの若い営農指導員が日々生産農家からの相談に奔走しながら、普段の何気ない会話を通して農家や地元の人たちとの信頼関係や絆が築かれている様子が細かく描かれており、アットホームな中にも誇りをもって接する若き指導員の姿が光っていた。特にJAおきたまブランドの確立と産地発展に取組んでいる姿は、心に強く残るものがあった。まさに優れたJAグループ作品である。

プロデューサー特別賞

緻密な構成・撮影・編集で、総合的に優れた番組

駆け出しは30歳 ～炎でつくりたい～

制作：山口放送

選出理由 実は控えめで内に秘めたるものがある、不思議な外見の弟子。
偉ぶることなく静かに見守り続ける師匠…ふたりの日常を見事なまでに描いていた。
必要最小限のテロップ、そぎ落とされたナレーション、シーン転換の美しい映像など、自然体かつ奥の深い秀作。

文部科学大臣賞

制作

信越放送

情報センター
制作部
宮川 伊都子

とうちゃんは茅葺師
～北アルプス 麓の村の１年～

長野と新潟の県境、北アルプスの麓にある小谷村にたった一軒残るのが、茅葺屋根を専門にする「小谷屋根」。茅葺師の松澤朋典さんはその三代目です。最初の印象は、日焼け顔に白い歯、笑顔が素敵なイケメン！しかし、手は人間のものとは思えないゴツゴツガビガビ。屋根の上で、家が揺れる勢いでカヤを踏む〝足技〟は、えげつない。茅葺は全身を使う仕事で、手は道具。松澤さんは手袋をはめずに、作業をします。「僕は手の感覚を大事にしていて、カヤの中に何か違う植物が混ざっているとすぐわかる。そのセンサーは手袋をしていたのでは働かない。」と話します。

小谷での松澤家の営みも驚愕です。ハチの子大好物！ハチの巣を見つけると、棒1本で叩き落とし、その後ピンセットでハチの子をヒョイヒョイつまんで、口へ。「滋養強壮にいいんですよ。これで１００ｍ多く走れます。」食べてみましたが、口の中で、幼虫の皮がはじけブチッ、そしてニュル…鳥肌が立ちました。

茅葺屋根にはカヤが必要です。茅葺師がいて、茅葺屋根があって、カヤ場がある、小谷の様な所は、国内では少なくなりました。地元の人たちがカヤ場の維持に努め、春の火入れや、秋のカヤ刈りを総出で行います。その光景は圧巻。こうした昔ながらの技術を残したいと松澤さんは奮闘しています。２０２０年に茅葺とカヤ採取を含む伝統建築工匠の技が、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。茅葺の伝統をどんな形でつないでいくのか。

これからも松澤さんの仕事に注目していきたいと思います。

日本のチカラ
NIPPON NO CHIKARA

総務大臣賞

制作

山形放送

東北映音
制作部長
伊藤 和幸

リアル THE 島暮らし
～山形の離島…飛島～

日本海に浮かぶ、山形県唯一の離島・飛島（とびしま）。人口約１７０人、平均年齢71歳。そんな過疎の島に若者たちが移住し２０１３年、会社を立ち上げました。♪コンビニねえ　バーもねえ　船は一日一度来る♪そんな島に若者たちはなぜ移住し、どんな暮らしをしているのか。それを知りたくて取材を始めました。

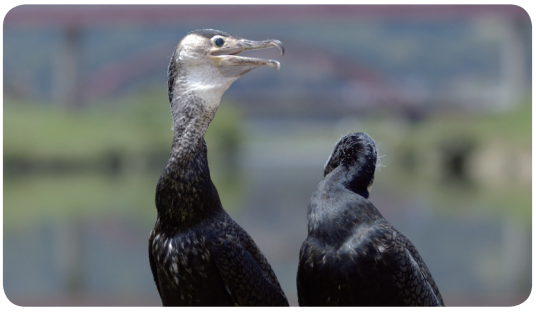
８人のメンバーは、飛島を〝過疎の先進地〟と捉えていることが印象的でした。人口のピークも減少に転じた時期も、日本の10年先を歩んでいるのだとか。いま飛島が抱えている諸問題を解決する糸口が見つかれば、それは全国の過疎地にも応用できるのではないか。そこに彼らが島で生きる矜持を感じました。

定期船は（通常一日一便。一度島に渡れば一泊の取材。海が荒れ、急きょ、延泊したことも。毎回余裕を持ったロケスケジュールを立てる必要がありました。定期船は物資の往来も担うため、船が島の暮らしに密接に関わっていることを実感しました。

飛島の人口減少にいまだ歯止めは掛かっていません。しかし、彼らは地域と多様に関わる「関係人口」を増やそうと、ＳＮＳで飛島の魅力を発信する取組みも始めました。今年２月には念願の光回線が開通。新たなビジネス展開に拍車が掛かるに違いありません。

番組を見た方から「飛島に一度行ってみたい！」という声をいただきました。全国のみなさんに飛島を知っていただき、引いては、番組が「関係人口」のきっかけになることができれば、そんなうれしいことはありません。

民教協会長賞



制作

中国放送

RCCフロンティア　山本 和宏

これがおれたちの伝統
～人と鳥がつないだ450年～

「…でもやるんだよ」番組冒頭に登場する言葉を大切にして取材しました。

広島県三次市に450年続く鵜飼の物語。

鵜飼は夏の風物詩と呼ばれ、人が鵜を操り、鮎を捕らえ、お客さんを楽しませてきました。しかし2021年、コロナ禍により遊覧船が密になるため史上初の中止に…。今回はこの伝統行事の復活にかける日々の営みに密着しました。

「でもやるんだよ」…この言葉は「他人には無駄に思えること」でも「信念を持ち何かを続ける人の心に共通する思い」だと感じました。鵜飼に関わる人たちが最初からこの伝統行事を愛していたわけではありません。主人公の鵜匠の日坂文吾さんをはじめ、みんなが赤裸々に語ってくれました。経済的に恵まれているわけでもないし、注目されるわけでもない。それでもこの伝統行事に関わり続けることで、それぞれが魅力を発見…。技を磨く喜び、自然の恵、仲間との絆…。こうして宿った信念と愛情がまさに「日本のチカラ」だと確信しました。

私も最初から、番組制作に愛情を持って取材していた訳ではありません。駆け出しの頃、番組作りは辛いだけで、いつ辞めようかと考えていました。しかし、少しずつ番組制作の醍醐味が分かり、楽しくなってきました。「これがおれたちの伝統」と誇る三次の鵜飼…。後継者不足、自然災害など未来はバラ色ではないけれど…「でもやるんだよ」！

日本中にある様々な伝統行事に根底に流れる精神であり、「地道なドキュメンタリー番組作りにも通じるのかな」と大きなチカラをもらいました。

中央出版グループ賞

制作

朝日放送テレビ

報道局
映像・編集部
田村 信大

みらいチケット
～子どもたちを支える善意のカレー食堂～

奈良県橿原市にある食堂「げんきカレー」が生み出した、子どもたちを支える「みらいチケット」。店内の壁に貼られた中から1枚を取って注文すると、カレーを誰でも無料で食べることができます。チケットはほかのお客さんが会計のついでに買ってくれたもの。つまり誰かの善意が、子どもたちの食を支えているのです。

カレーは大きな鶏肉がごろごろ入っていて、1杯なんと200円。会計にチケット1枚を上乗せして支払っても、ワンコインで足りる手軽さがチケット購入につながっています。しかしその安さを維持するのは並大抵のことではありません。齊藤さんは、本業の英会話教室との二足のわらじで忙しい日々の合間を縫って協力してくれる企業や農家を探し回り、子どもたちのために惜しみなく汗をかきます。

それだけ心血をそそいでおられるげんきカレーが、「将来、なくなればいい」と齊藤さんは言います。齊藤さんが子どものころには、げんきカレーのような場所は当たり前のようにあった環境で、近所の人がよその子にご飯を食べさせたり、上級生が勉強の面倒を見たりしていたといい、「地域で子どもたちを見守るということが当たり前になれば、子ども食堂もいらなくなる」というのがお話の真意でした。

取材を通して印象に残っているのは、大人子どもが年齢の隔てなく笑い合う光景です。時代とともに地域の結びつきが薄れ、最近では大人と子どもとの間に溝ができてしまっているように感じます。その溝を埋めるげんきカレーのような存在こそ、いま求められているような気がします。

中小機構理事長賞

制作

東北放送

報道制作局
テレビ制作部
平沼 敦子

シンタと妻と娘たち
～おいしい宮城　届けます！～

宮城県仙台市で地元食品メーカーや生産者と一緒に商品開発を行い、次々にヒット商品を生み出している人がいます。食品卸会社「かね久」の社長・遠藤伸太郎さん（50）です。自ら旗振り役となって「食のみやぎ応援団」を立ち上げ、これまでであれば廃棄されてしまっていた食材に新たな価値を見つけて、商品化する活動も行っています。

最初は遠藤社長が10以上は同時並行で進めているという、新商品を開発する過程を追いかけようと取材を進めていました。その中で「どうしてそこまで地元食材のPRにこだわるのか」と疑問が心の片隅に引っかかり、もっと普段の様子を知りたいと訪れたのが、遠藤さんの自宅です。「シンタ君」と呼び、幼馴染の夫のことが大好きな妻・桐恵（ひさえ）さん。「父親が電話をしょっちゅうかけてくるのが困る」と話しつつも、本心では父を尊敬している娘たち。そして会社で見せる「仕事が出来る社長」の顔とは違い、ジャージ姿で可愛い娘たちにほほを緩めっぱなしの遠藤さんの表情…。笑顔が絶えない家族のやり取りがとても面白く、当初の企画を大きく変え、遠藤さん家族の物語を描こうと決めました。遠藤さんは東日本大震災で家を失い、近所に住み家族同様に可愛がっていた甥と姪を亡くしました。その体験を公の場で語ることは、ほとんどありません。震災からまもなく11年が経ちますが、あの時被災地にいた人たちの当時の状況は様々、どんな影響を受け、この11年どう過ごしてきたのかも様々です。今回の取材では、小学生や中学生だった娘たちが、震災当時は両親には言えなかったけれどもこんなことを思っていた、と語る場面が印象的でした。語られてこなかった体験や思いがまだまだあり、地元局としてまだまだやるべきことがある。思いがけず気づかせてくれた、遠藤さん一家との出会いに感謝しています。

JAグループ賞

制作

山形放送

報道制作局
制作部
奥山　剛

雑談が仕事！
～山形発！おいしいブドウの秘密～

山形県の南部「置賜（おきたま）」地域。山の斜面に広がるビニールハウスでは小粒品種「デラウェア」が栽培されています。全国の産地で高齢化や後継者不足の課題に直面する中「山形おきたま産デラウエア」は統一ブランドを確立し全国に出荷。品質が評価され取引価格も上がってきています。

「おきたまのブドウ」おいしさの秘密を探ろうと、番組ではJA山形おきたまの営農指導員、進藤誉昌さんに密着。カメラは、園地を巡回し生産者と情報交換、世間話をする進藤さんの日々を撮り重ねました。

この年は霜や長雨、猛暑など、想定を越える天気がブドウ栽培を難しくさせていました。「私は雑談が仕事」と話すように、生育状況や生産者の悩みなど足で拾い集め解決策をアドバイスする進藤さんの姿に感銘を受けました。

また、生き生き働く生産者に出会いました。ブドウ作りと食堂の二刀流を40年以上続ける金子悦子さん（67）や、「元気の秘訣は仕事」カラオケや社交ダンスが趣味の相良シンさん（80）。人生を楽しんでいるお二人に多くを学びました。

取材中、新藤さんの携帯電話には生産者からの相談が次々寄せられ、対応に追われる姿を見ました。「以前は模範となる農家が地区ごとにいて困りごとを解決していたけれど…」ある生産者がぼやいていました。

産地を守り、栽培技術を未来へ伝えていくためには、新藤さんはじめ営農指導員が重要な役割を果たしていることを感じました。

日本のチカラ NIPPON NO CHIKARA

奨励賞

北の離島は人生のリング
～移住漁師・感涙の６年間～

制作

北海道放送
報道制作センター
情報制作部
河野　啓

今回の演出家は「時間」です。以前「日本のチカラ」で描いた2人の移住漁師を、6年ぶりに取材しました。神戸出身の元プロボクサー、水貝和広さん。以前はまだ漁業研修中で、親方に叱られることもしばしば…それが今や…。漁の腕前を上げたばかりか、島で看護師をしていた女性と結婚して2人の男の子のパパになっていました。「将来はボクサー？いや、優しい人に育ってくれたら満足です」と目尻を下げます。

水貝さんを利尻島に誘った同郷の中辻清貴さんは、親方に。「雨の日でも昆布を乾かせるように」と、利尻で1番大きな乾燥施設を建てていたから驚きです。「漁師は頭を使え！」という先代親方、横山利彦さんの教えを、中辻さんはずっと実践してきました。横山さんはこの2年前に他界。その思い出を語る中辻さんの頬は、涙で濡れていました。利尻の昆布漁師の誇りは、都会から来た弟子に受け継がれていきます。

2人の、そして利尻昆布の今後に「幸あれ！」。

日本のチカラ NIPPON NO CHIKARA

奨励賞

“笑顔”支える大黒柱
～元落語家と子どもたち～

制作

宮崎放送
報道制作局
テレビ制作部
高橋　晋作

「僕なんかより、子どもたちの映像をいっぱい出して下さいね（笑）」。今回の主人公、元落語家〝柱大黒〟こと甲斐伸也さんは、取材の度にこう話します。

コロナ禍で2年連続中止になった「こども落語全国大会」。その代替イベントとして「大黒杯」を立ち上げた大黒さん。しかも自腹で。なぜそこまで落語に、そして子どもたちに尽くすのか、という興味から今回の番組を制作させていただきました。

実際取材してみると、高校までの厳しい家庭環境や、入門から破門までの落語家時代、帰郷後も親の借金返済に追われるなど、波乱万丈な人生を送っていました。「いろんな人に迷惑をかけてきたから恩返しがしたい、僕に出来るのは落語だけ」と甲斐さん。この純粋な思いが「大黒杯」の開催につながり、子どもたちに笑顔をもたらしました。コロナ禍で制作現場も何かと制限の多い昨今ですが、甲斐さんの行動力と熱い思いを見習い、今後の番組制作の糧にしたいと思います。

日本のチカラ
NIPPON NO CHIKARA

奨励賞

制作

青森放送

制作局
テレビ制作部
平井 和真

絵は心の鏡
～文字が読めないアーティスト～

カラオケや居酒屋、老人ホームの壁、小学校の下駄箱など、青森県内でGOMAさんの作品を目にすることが多くなりました。

話をしてみると、とても気さくに接してくれる陽気なお兄さんという印象。撮影は順調に進むし、たくさんお話もしてくれる。しかし、何度か通ううち、私は少し違和感を感じました。しばらくインタビューをしていくなかで「私はアーティストGOMAを演じているんです」という言葉が。自身の障がいのことでいじめられ、周囲となじめなかった少年時代。そんな中、なんとなく描いていると落ち着くと絵を描き始めたと言います。なぜ彼は絵を描き続けるのか、なぜアーティストGOMAを演じなければいけないのか。答えは出ませんでしたが、GOMAさんの心の中はどうなっているのだろうと、彼の「絵を描く姿」を覗くことで何かを感じたい、感じてほしいと制作しました。

放送後、彼への絵のオファーは増え続け、GOMAさん自身も心の中を描きだす「絵を描くこと」にさらに自信がついたようです。

日本のチカラ
NIPPON NO CHIKARA

奨励賞

制作

山梨放送

報道制作局
テレビ制作部
天野 英和

亡き兄、そして厳格な父へ…
～静かな決意と山梨マンゴー～

「土日ご飯でもどうですか?」番組放送後、月に1～2度こんな電話が鳴ります。電話の主は、半年以上密着してきたマンゴー農家の守屋さん。ご飯に行くとマンゴーの話、学生時代の話、父の話…などなど。年齢も一つ違いで、価値観も近く、話が盛り上がります。

反響が守屋さんの元に届くようで、各地で放送がある度に、マンゴーの予約がぽつぽつと入るそうです。守屋さん自身は「まだ番組を見ていない」そうですが、「反響があるのできっといい番組を作ってくれたんですよね」とお礼を言ってくれます。見ない理由は、恥ずかしいのもあるそうですが「天野さんと駆け抜けた半年間が終わってしまうようで寂しい」と言ってくれました。大変嬉しい御言葉ですが、早く見てほしいなと思います。

今回、日本のチカラの制作を通して、自分にとって人生の財産になる貴重な経験とつながりをいただくことができました。この場を借りて御礼申し上げます。

日本のチカラ
NIPPON NO CHIKARA

プロデューサー特別賞

制作
山口放送

報道制作局
報道部
大坪 敬幸

駆け出しは30歳
～炎でつくりたい～

背中まで届く長髪、無精髭、サングラス…一見ちょっと怖そうな、でも話すととても優しくて、まっすぐな30歳・伊神雄一さんが主人公です。年齢が50も離れた師匠・田村悟朗さんの器づくりを受け継ごうと、愛知県名古屋市から山口県の山間にある窯に弟子入りしました。

田村さんは、器づくりにとことん手間をかけます。土の固さを均一にするのにも、他の窯元とは違って、機械は使いません。昔ながらの「土踏み」…自分の足で踏んでいくのです。収入がなく、貧しい生活を送りながらも、伊神さんは師匠の言葉に耳を傾け、その手法をひとつひとつ学んでいきます。

番組でお伝えしたかったのは、「受け継がれる」ことの美しさ、素晴らしさです。

スマートフォンを使えば大体のことが一瞬で調べられる現代において、山間の小さな窯でしか得られないものがあります。師匠から弟子へ、受け継がれゆく炎…これからも、記録しつづけます。

番組トピックス

「日本のチカラ」、「民教協スペシャル」といった民教協の番組をベースにした各局のドキュメントが、本年度も数々の賞を受賞しました。

「おひさま家族～りんくん一家の17年～」（制作：静岡放送）

・ニューヨーク・フェスティバル　ドキュメント部門ブロンズ賞受賞（22年4月）
・民間放送連盟賞　テレビ準グランプリ（21年11月）

映画「サンマデモクラシー」（制作：沖縄テレビ放送）

・21年7月より沖縄・桜坂劇場を皮切りに全国で公開。

「とうちゃんは茅葺師～北アルプス麓の村の1年～」（制作：信越放送）

・第63回科学技術映像祭　教育・教養部門優秀賞（22年3月）
・民間放送連盟賞　テレビエンターテインメント番組部門　優秀賞（21年11月）

「俺たちウォーターボーイズ」（制作：山口放送）

・民間放送連盟賞　テレビエンターテインメント番組部門　最優秀賞（21年11月）

日本のチカラ NIPPON NO CHIKARA 2021年度放送リスト

#	東京地区放送日	タイトル	制作局
253	4月17日（土）	笑顔の先に ～私は日系ブラジル人 落語家～	テレビ朝日
254	4月24日（土）	あかねさんの幸せ弁当 ～子育てママ…ドタバタ物語～	四国放送
255	5月 1日（土）	北の離島は人生のリング ～移住漁師・感涙の6年間～	北海道放送
256	5月 8日（土）	ノーマンブラザーズ物語 ～養鶏ってかっこいい～	琉球放送
257	5月15日（土）	えがおのスイートポテト	静岡放送
258	5月22日（土）	駆け出しは30歳 ～炎でつくりたい～	山口放送
259	5月29日（土）	“くだらないもの”が叶える夢 ～愛知・一宮の町工場から～	メ～テレ
260	6月 5日（土）	ラガーマンと菊の花。～秋田発31歳のスマート農業～	秋田放送
261	6月12日（土）	心をつなぐキーマカレー ～お寺のこども食堂～	テレビ朝日
262	6月19日（土）	俺たち、ムロヤ青年会 ～ゆるく 楽しく 根気よく～	新潟放送
263	6月26日（土）	とうちゃんは茅葺師 ～北アルプス 麓の村の1年～	信越放送
264	7月 3日（土）	福祉をオシャレに！～ここが私の働く場所～	琉球放送
265	7月10日（土）	ワンコインで地球をクリーンアップ!?	沖縄テレビ
266	7月17日（土）	みらいチケット ～子どもたちを支える善意のカレー食堂～	朝日放送テレビ
267	7月24日（土）	職業 サラリーマン漁師 ～初心者OK! ボーナスあり！～	高知放送
268	7月31日（土）	デデデデデンケン物語 ～ミセス電子顕微鏡の日常～	日本海テレビ
269	8月 7日（土）	青のり家族 ～田舎 楽しんでます！～	南海放送
270	8月14日（土）	僕、わさび屋だもん	静岡放送
271	8月21日（土）	これがおれたちの伝統 ～人と鳥がつないだ450年～	中国放送
272	8月28日（土）	山のガッコウ ～三重県発 “教えない教育”～	メ～テレ
273	9月 4日（土）	ブロッコリーに恋をした。知名度アップへ奮闘中	日本海テレビ
274	9月11日（土）	長崎 温泉蒸す女 ～明るく 楽しく 元気よく！～	長崎放送
275	9月18日（土）	夢みる軽トラ ～南三陸 ほのか日記～	東北放送
276	9月25日（土）	リアル THE 島暮らし ～山形の離島…飛島～	山形放送
277	10月 2日（土）	きょうも元気に！鹿児島発“走るスーパー”	南日本放送
278	10月 9日（土）	町工場のサンタクロース ～強くて弱い磁石が引き寄せる未来～	IBC岩手放送
279	10月16日（土）	ひょうたん温泉物語 ～人こそ財産！～	大分放送
280	10月23日（土）	雑談が仕事！～山形発！おいしいブドウの秘密～	山形放送
281	10月30日（土）	あこがれの海女 ～ふる里の伝統を受け継ぐ～	福井放送
282	11月 6日（土）	“笑顔”支える大黒柱 ～元落語家と子どもたち～	宮崎放送
283	11月13日（土）	雪男と雪美人 ～新潟発！輝くユリの誇り～	新潟放送
284	11月20日（土）	ユズと将棋と筋トレと ～みんなで支える農福連携～	高知放送
285	11月27日（土）	発進！ト楽（ラク）ター ～農業の未来を拓け～	北海道放送
286	12月 4日（土）	里山キラリ 農ライフ ～金沢ゆずと加賀野菜～	北陸放送
287	12月11日（土）	地球とつながる男 ～ミシュランシェフの給食革命～	RKB毎日放送
288	12月18日（土）	生きがい交差点 ～人と人が織りなす「まちの駅」～	福島テレビ
289	1月 8日（土）	下戸が学生結婚したら、雪国にワイナリーができました。	北日本放送
290	1月15日（土）	シンタと妻と娘たち ～おいしい宮城 届けます！～	東北放送
291	1月22日（土）	絵は心の鏡 ～文字が読めないアーティスト～	青森放送
292	1月29日（土）	亡き兄、そして厳格な父へ… ～静かな決意と山梨マンゴー～	山梨放送
293	2月 5日（土）	あしたの風にのって ～小豆島…波乗り社長の挑戦～	西日本放送
294	2月12日（土）	宇宙イチの山師 !? ～ピンク髪社長とナチュラル母ちゃん～	熊本放送

「日本のチカラ」は以下の地上波、BSの各放送局でもご覧いただけます。

■ BS朝日　毎週金曜日　5:25～　■ 群馬テレビ　毎週土曜日13:30～（日曜日再放送）

■ TOKYO MX　不定期放送　※番組編成は変更する場合がございますのでご了承願います。

2021年度「テレビのチカラ」地区大会・全国大会は前年に引き続き、開催中止に

2020年度の「テレビのチカラ」地区大会・全国大会は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、20年5月26日の段階で全て開催見送りとなりました。それを受け、民教協では2021年3月に行われた第124回理事会で、「今年度の地区大会・全国大会は、無観客での配信を含めたダブルスタンバイでの準備を行い、各大会とも開催予定日の1か月前までに主管局と協議のうえ実施の可否を最終判断する」という方針を打ち出しました。

しかしながら、6月12日（土）に開催を予定していた宮城地区大会は、英国変異株の台頭による第4波が全国的に広がりを見せていたこと、宮城県での確保病床使用率が下がらず、状況が「ステージ3」から下がらないことなどから、5月10日に中止を決定、続いて9月11日（土）に予定されていた沖縄地区大会も、特措法に基づく緊急事態措置が2回の期間延長を重ねて、8月下旬まで続くことになったため、7月に中止を決めました。

残る富山地区大会、名古屋で予定されていた全国大会はなんとか開催できるよう、ぎりぎりまで準備を進めていましたが、8月下旬になって「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」対象地域が21都道府県に広がったことから、残念ながら8月31日に中止を決め、加盟全社に通知されました。

地区大会				
地　区	主管局	開催地	開催予定日	コロナ禍対応
北海道・東北・関東・甲信越	東北放送	仙台市	6月12日（土）	中止
中部・北陸・関西・中国	北日本放送	富山市	10月 2日（土）	中止
四国・九州・沖縄	沖縄テレビ放送	那覇市	9月11日（土）	中止

全国大会				
第57回 全国大会	主管局	開催地	開催予定日	コロナ禍対応
	名古屋テレビ放送	名古屋市	10月 9日（土）	中止

なお全国大会前日の10月8日（金）に名古屋にて対面で予定されていた「ドキュメンタリー制作者向け勉強会」はオンライン形式に変更し、無事に開催されました。

大会の開催が予定されていた地区の主管局の皆様には、ご準備にご尽力いただいておりましたことに改めてあつく御礼を申し上げます。

文部科学省後援　子どものための読み聞かせ事業

公益財団法人 民間放送教育協会では、平成 23 年度より、「子ども未来プロジェクト」の一事業として、加盟する放送局の協力を得て、「読み聞かせ事業」を実施しております。

この事業は、平成 23 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災により、被災地のみならず、その他の地域の子どもたちも緊張や不安が高まり、心に傷を受けていたことをきっかけに、放送事業者として心のケアにどう取り組んでいけるのかを加盟各局で検討してスタートしたもので、今年度も、文部科学省後援の事業となっております。

令和 2 年の 4 月には、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から政府は 7 都府県に緊急事態宣言を発令、すぐに対象は全国に拡大されました。

この状況下で「読み聞かせ事業」の継続は危ぶまれましたが、従来の会場での対面方式だけでなく、オンラインを活用したリモート読み聞かせ、読み聞かせ番組の Web 配信、同 DVD 配布など、加盟各局の工夫とアイデアで、多様な方法で子どもたちへアプローチすることにより、無事途絶えることなく今日に至っております。

その一方で、オンライン配信では「子どもたちの反応・ライブ感が欠如する」と、今年度は対面式でのリアル開催に重点を置いた局もあります。また山口放送の様に柳井市の教育委員会と協力して、市内の全小学校 10 校同時にオンラインで読み聞かせを実施する等、新たなスキームに更に磨きをかけた局もありました。

今後も、放送事業者としての特性を生かし、多くの地域で「読み聞かせ事業」を継続していきたいと考えています。

2021年度　「読み聞かせ」事業実施局（23局）

北海道放送	青森放送	IBC 岩手放送	秋田放送	山形放送
東北放送	福島テレビ	新潟放送	北日本放送	北陸放送
福井放送	信越放送	山梨放送	静岡放送	日本海テレビジョン放送
山口放送	四国放送	長崎放送	熊本放送	宮崎放送
南日本放送	沖縄テレビ放送	琉球放送		

民教協からのお知らせ

入会報告

2021年6月1日付で、新しく賛助会員として株式会社日本国際放送が民教協に加わることになりました。

日本国際放送は、NHKの子会社ですが、テレビ東京以外の東京キー局が出資しており、オールジャパン体制での国際放送を目指しています。

民教協事務局では、2013年から番組の海外展開向け二次利用収入獲得の中核パートナーとして日本国際放送を位置づけており、数多くのコンテンツ展開の実績があります。

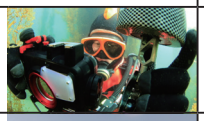
この加盟社（賛助会員）加入を契機に日本国際放送との協業をより一層強化し、民教協番組コンテンツの更なる海外展開につなげていく方針です。

学校教育・生涯学習に
番組DVDの貸し出しをご活用ください。

民間放送教育協会では、番組を使って授業を行う場合に番組DVDの貸出を行っております。2021年度は20作品が合計31回、貸し出されました。

人気上位作品は以下の通りです。

2021年度　番組貸し出し回数上位作品

番組名	サブタイトル		貸し出し回数	目的（抜粋）
第35回民教協スペシャル	おひさま家族 ～りんくん一家 10年の記録～		5回	・小学校、中学校の道徳の授業 ・重症心身障がい児者の支援施設職員研修 ・公民館事業高齢者学級での視聴
第26回民教協スペシャル	生きることを選んで		4回	・看護学生の講義に使用 ・看護学校におけるALS患者の理解のために在宅看護の授業 ・大学・福祉コース「障害者福祉入門Ⅰ」講義内での視聴
日本のチカラ#242	ヒメタツに魅せられて ～再生へ向かう誇りの海～		3回	総合的な学習での地域学習
第34回民教協スペシャル	サンマ デモクラシー		2回	高校生の平和教育
日本のチカラ#231	ひとりじゃない ～ママがゆく！復興への道～		2回	高校の総合的な探究の時間において社会的関心・知識を高める為に視聴。
日本のチカラ#275	夢みる軽トラ ～南三陸 ほのか日記～		2回	・大学における教養教育科目「自己開発」講義で視聴 ・大学の「職業研究」の授業で視聴

小･中学校での道徳の授業や修学旅行の事前学習、また看護学生に向けた講義での視聴など、学校や教育･研究機関、福祉団体などの非営利の団体の皆様に、番組をご活用いただいております。

貸し出し作品は、「日本のチカラ」･「日本！食紀行」･「学び Eye ！」･「発見！人間力」･「民教協スペシャル」です。

貸し出し方法、番組の内容は当協会ホームページ「番組貸し出し」をご覧ください。

（注）貸し出しは著作権の範囲内で行っています。

2022年度　公益財団法人 民間放送教育協会　理事・監事・評議員名簿

令和４年３月24日現在（敬称略）

理　事（19名）			
会　　長	吉永みち子		ノンフィクション作家
副 会 長	中村　耕治	（株）南日本放送	取締役相談役
理 事 長	吉田　慎一	（株）テレビ朝日ホールディングス	代表取締役社長
常務理事	高田　　覚	（株）テレビ朝日	取締役
理　　事	池内　昭彦	福井放送（株）	代表取締役社長
	石渡　　弥	（株）電通	ラジオテレビ局長
	磯村　美樹	（株）博報堂DYメディアパートナーズ	取締役　常務執行役員
	一力　敦彦	東北放送（株）	代表取締役社長
	井上　良次	RKB毎日放送（株）	取締役会長
	岡元　　直	四国放送（株）	代表取締役社長
	久保田憲二	沖縄テレビ(株)	代表取締役会長
	崔　　洋一	(協組)日本映画監督協会	理事長
	榛葉　英二	静岡放送（株）	代表取締役社長
	高田　担史	（一社）ACC（All Japan Cofederation of Creativity）	理事長
	津隈　佳三	（株）宮崎放送	取締役相談役
	真鍋　和彦	日本海テレビジョン（株）	最高顧問
	山本　恒太	青森放送（株）	代表取締役社長
	山本　晋也	朝日放送テレビ（株）	代表取締役社長
	吉藤　　徹	北陸放送（株）	代表取締役社長

監　事（2名）			
	瀧脇　俊彦	北日本放送（株）	代表取締役社長
	池田　慶介	（株）テレビ朝日	ネットワーク局長

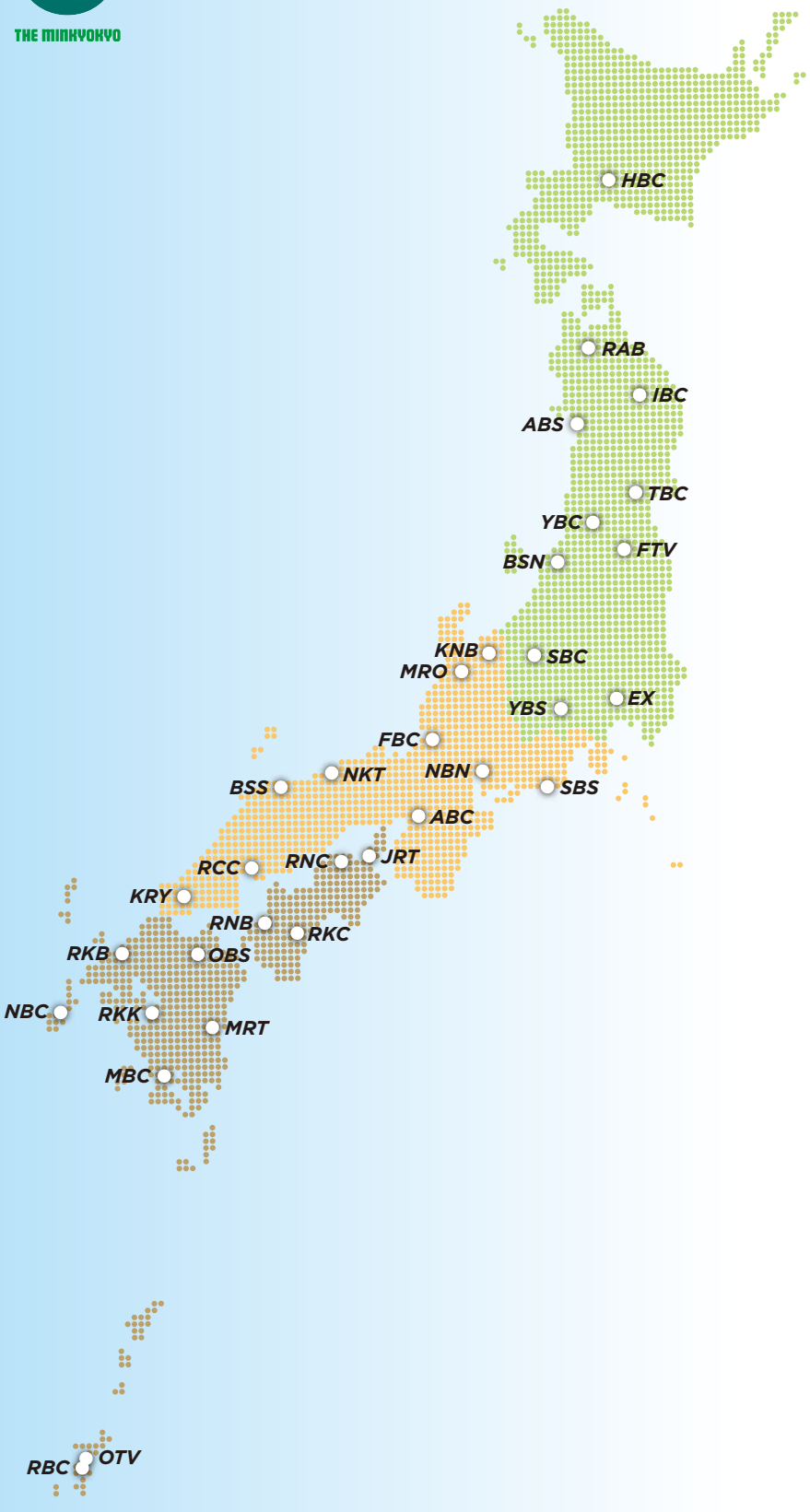
評議員（17名）			
	東　　晋	長崎放送（株）	代表取締役社長
	若松　仁嗣	（一社）全国農業協同組合中央会	常務理事
	音　　好宏	上智大学	教授
	狩野　隆也	名古屋テレビ放送（株）	代表取締役社長
	勝田　直樹	北海道放送（株）	代表取締役社長
	境　真理子	桃山学院大学	教授
	坂元　　章	お茶の水女子大学	教授　理事・副学長
	佐藤　隆夫	（株）新潟放送	代表取締役社長
	立田　　聡	（株）秋田放送	代表取締役社長
	豊永　厚志	（独法）中小企業基盤整備機構	理事長
	中村　卓朗	西日本放送（株）	代表取締役社長
	永原　　伸	（一社）日本民間放送連盟	専務理事
	丹羽　美之	東京大学大学院	教授
	林　　延吉	山口放送（株）	代表取締役社長
	星野　博美		ノンフィクション作家
	宮迫　良己	（株）中国放送	代表取締役社長
	森　　達也		映画監督

2021 年度　民間放送教育協会の主な活動

2021（令和３年）		
４月	５日	日本のチカラ 2021 年度第２回ブラッシュアップ会議（オンライン／秋田放送・新潟放送・信越放送 テレビ朝日・メ～テレ・琉球放送）
	16 日	第 62 回科学技術映像祭表彰式 日本のチカラ「ヒメタツに魅せられて ～再生へ向かう誇りの海～」（制作：熊本放送）教育・教養部門 優秀賞を受賞
	17 日	2021 年度「日本のチカラ」放送開始
５月	10 日	新型コロナ感染防止対策のため、2021 年度「テレビのチカラ」宮城地区大会（主管：東北放送 6/12 開催予定）の中止を決定
	17 日	第 125 回理事会（オンライン形式）
	24 日	日本のチカラ 2021 年度第３回ブラッシュアップ会議（オンライン／静岡放送・朝日放送テレビ 日本海テレビ・南海放送・高知放送・沖縄テレビ）
６月	２日	第 114 回評議員会（オンライン形式）
	28 日	日本のチカラ 2021 年度第４回ブラッシュアップ会議（オンライン／メ～テレ・中国放送 日本海テレビ・長崎放送）
７月	14 日	2021 年度「テレビのチカラ」沖縄地区大会（主管：沖縄テレビ　9/11 開催予定）の中止を決定
	26 日	日本のチカラ 2021 年度第５回ブラッシュアップ会議（オンライン／ IBC 岩手放送・東北放送 山形放送・南日本放送）
８月	23 日	日本のチカラ 2021 年度第６回ブラッシュアップ会議（オンライン／北海道放送・山形放送 福井放送・大分放送）
	31 日	2021 年度「テレビのチカラ」富山地区大会 （主管：北日本放送　10/2 開催予定）ならびに全国大会（主管：名古屋テレビ放送　10/9 開催予定） の中止を決定
９月	27 日	日本のチカラ 2021 年度第７回ブラッシュアップ会議（オンライン／新潟放送・北陸放送・高知放送 宮崎放送）
10 月	４日	日本のチカラ 2021 年度番組選奨上期評価会議（オンライン形式）
	８日	第１回民教協ドキュメンタリー勉強会（オンライン形式）
	25 日	日本のチカラ 2021 年度第８回ブラッシュアップ会議（オンライン／東北放送・福島テレビ 北日本放送・RKB 毎日放送）
11 月	15 日	制作責任者総会（オンライン形式）
	24 日	日本のチカラ 2021 年度第９回ブラッシュアップ会議（オンライン／青森放送・山梨放送 西日本放送・熊本放送）

2022（令和４年）		
１月	21 日	東京支社連絡担当者会議（オンライン形式）
２月	４日	日本のチカラ 2022 年度第１回ブラッシュアップ会議（オンライン／北海道放送・青森放送 テレビ朝日・信越放送）
	17 日	第 37 回民教協スペシャル一次選考会議（オンライン形式）
	18 日	東京支社長会議（オンライン形式）
	21 日	日本のチカラ 2021 年度番組選奨下期評価会議（オンライン形式）
３月	１日	第 126 回理事会（オンライン形式）
	７日	日本のチカラ 2022 年度第２回ブラッシュアップ会議（オンライン／秋田放送・テレビ朝日 静岡放送・メ～テレ）
	10 日	日本のチカラ 2021 年度番組選奨評価会議（オンライン形式）
	17 日	第 37 回民教協スペシャル二次選考会議（オンライン形式）
	24 日	第 115 回評議員会（オンライン形式）

THE MINKYOKYO



民教協ネットワーク

民間放送教育協会加盟33社

全国33局ネット

北海道・東北・関東・甲信越地区

北海道放送	HBC
青森放送	RAB
IBC岩手放送	IBC
秋田放送	ABS
山形放送	YBC
東北放送	TBC
福島テレビ	FTV
新潟放送	BSN
信越放送	SBC
山梨放送	YBS
テレビ朝日	EX

中部・北陸・関西・中国地区

北日本放送	KNB
北陸放送	MRO
福井放送	FBC
静岡放送	SBS
メ〜テレ	NBN
朝日放送テレビ	ABC
日本海テレビ	NKT
山陰放送	BSS
中国放送	RCC
山口放送	KRY

四国・九州・沖縄地区

西日本放送	RNC
四国放送	JRT
南海放送	RNB
高知放送	RKC
RKB毎日放送	RKB
長崎放送	NBC
大分放送	OBS
熊本放送	RKK
宮崎放送	MRT
南日本放送	MBC
沖縄テレビ放送	OTV
琉球放送	RBC

https://www.minkyo.or.jp/

No.59

公益財団法人　民間放送教育協会
〒106-8001 東京都港区六本木 6-9-1
TEL：03-6406-2171